

(様式5)

平成30年度学校関係者評価報告書

学 校 名 湯梨浜町立泊小学校

校 長 名 山 本 洋 介 印

評価日 平成31年2月26日	
評価・提言	学校の所見・改善策等
○「ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり」の取組についてはA評価でもよいと思う。 また、「わかる授業の創造と確かな学力について」は、例えば成績は出ているようだが、どこまでいけばA評価になるのだろうか。 よく頑張って取り組んでおられるので少し厳しい評価をしておられるように思う。 ○子どもたちのトラブルはよくあることだが、一つ一つ丁寧に解決してやってほしい。また、根っこのない意地悪でも心に傷の残ることがあるのでしっかりと解決してやってほしい。 ○学校と保護者と児童クラブで連絡を取りながらトラブル解決等進めていくのはいいことだと思う。 ○文書で伝えても保護者全体に浸透することはなかなか難しい。参観日の学級懇談は人数が少ないようだが、みんなで話し合うことが共通理解したり、問題解決したりするのにいい機会だと思うので、なんとか人が集まるようないい方法を考えてほしい。 ○新採、ベテランということではなく、教師と保護者の信頼関係、日々の積み重ねが一番大切だと思う。	・地域の方、ボランティアでお世話になっている方に対する感謝の気持ちを持ち、それを表現していくことで双方向の取組となるようにしていきたい。 ・児童一人一人の個別の対応が十分などころまで、できていないところもある。授業実践を含めて、個別への指導・支援を引き続き行っていきたい。 ・体力テスト種目について底上げが図られてきているが、課題である短距離走等の力も伸ばせるよう取組の継続・充実を図っていきたい。 ・あったか言葉、あったか集会の継続した取り組みにより、校内におだやかな雰囲気が広がっていると児童も教職員も実感している。学校を離れた場面や子ども同士の場面でもそれが広がるようにさらに活動を充実させていきたい。 ・児童クラブと今後も連携しながら、学校と家庭とのつながりを深めたり、トラブル等の迅速かつ的確な解決を行っていきたい。 ・児童クラブとの連携を含めて、保護者とはしっかりと連絡を取りながら教育活動を進めていきたい。